

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに
重点的取組 3 地域の特性を生かした拠点をつくり、つなげる

担当課名		総務部 総務課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	公共施設調査事業	事業開始年度	平成 25 年度
	庁舎跡地新施設整備基本構想策定（旧宮島支所）	根拠法令 条例 個別計画等	

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	宮島町の住民及び来島者等	新たに整備する施設でのサービス・利便性の向上、地域コミュニティの活性化を図るための基本構想を策定する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	委託手続、業務の管理	受託業者 地元住民	新施設整備の各種提案等 新施設整備利活用の検討・活性化検討

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	旧宮島支所跡地新施設整備のための、基本構想の策定・解体施工計画の検討を行う。						
	(1) 旧宮島支所跡地新施設整備基本構想策定業務委託 公共施設マネジメント基本方針に基づき、民間事業者等との対話を通じて新施設整備基本構想を策定する。 民間事業者等との対話（市場性調査）⇒ 公募要項の作成 ⇒ 基本構想プロポーザル ⇒ 委託 民間事業者等との対話（市場性調査） 公共サービス・利便性の向上、地域コミュニティの活性化を図り、新たな公共施設の資産を最大限活用するため、デザイン・ビルド（DB）方式等の導入を念頭に調査を行う。 項目：○新施設の整備、整備・運営コスト削減策・効率的経営の提案 ○新施設を有効活用するためのアイデア等						
	(2) 旧宮島支所解体施工計画検討業務委託 解体工法、運搬ルート等解体施工計画の検討を行い、周辺及び沿線住民、観光事業者等へ周知し、工事への理解を得るための基礎資料とする。						
	(3) 旧宮島支所跡地地質調査業務委託 新施設建設地の地盤調査（ボーリング調査）。 斜面の安定調査のための地質調査。						
	【歳出】						
	新施設整備基本構想策定業務		2,000 千円				
	旧宮島支所解体施工計画検討業務		6,000 千円				
	旧宮島支所跡地地質調査業務						
	建築物地盤調査（L=20m、3本）		6,000 千円				
	斜面の安定調査（横ボーリング2本、簡易貫入試験3箇所）		5,000 千円				
コスト情報（円）	項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算		
	財源内訳	直接事業費 A	3,255,000	2,000,000	19,000,000		
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金（市債）					
		その他(使用料など)					
		市（市税など）	3,255,000	2,000,000	19,000,000		
	人件費（按分）B		0.20 人 1,697,200	0.20 人 1,702,200	0.50 人 4,324,500		
	総事業費（A+B）		4,952,200	3,702,200	23,324,500		
	単位 換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人		
市民1人当たり		42	31	199			
②							
到達目標	活動及び成果指標		単位	H25 実績値	H26 目標値	H27 目標値	備考
	活動 成果	地域住民とのワークショップ					
		各種団体との検討会議					
		基本構想策定					